



平成21年度 寄贈資料

化石・岩石（自然史系資料）：48件・649点

※化石・岩石は全て白亜系（白亜紀）のもの
(受入番号／寄贈資料の名前：点数／寄贈者名)

- 2009-001／化石ノジュール：5／阿部利春
2009-005／化石ノジュール：24／阿部利春
2009-009／化石ノジュール：1／千歳化石会 平澤准幣
2009-011／化石ノジュール：2／千歳化石会 服部義幸
2009-017／化石ノジュール：102／堀田良幸
2009-018／生痕化石（フナクイムシ）：1／千歳化石会 佐川昭
2009-020／化石ノジュール：113／堀田良幸
2009-021／脊椎動物化石：1／堀田良幸
2009-022／化石ノジュール：6／鹿島・熊谷・みらい
特定建設工事共同企業体
2009-023／化石ノジュール：12／博物館協力会 荒木新太郎
2009-025／化石ノジュール：11／菅原昭二
2009-031／アンモナイト（*Tetragonites popetensis*）：1／長岡晴道
2009-032／化石ノジュール：39／むかわ町立穂別博物館協力会
2009-035／脊椎動物化石（カメ）：1／大和治生
2009-036／化石ノジュール：1／千歳化石会 平澤准幣
2009-037／化石ノジュール（*Desmoceras* sp.）：9／千歳化石会 服部義幸
2009-038／化石ノジュール：1／千歳化石会 平澤准幣
2009-040／化石ノジュール：20／阿部利春
2009-041／化石ノジュール：58／博物館協力会 荒木新太郎
2009-042／脊椎動物化石（カメ）：1／菅原昭二
2009-043／化石ノジュール：1／菅原昭二
2009-044／化石ノジュール：129／堀田良幸
2009-045／カニ？化石：1／佐藤宏紀
2009-046／化石ノジュール：15／佐藤幸太郎
2009-047／魚化石（椎骨）：1／吉田優子
2009-048／アンモナイト：1／森脇修
2009-049／アンモナイトほか：2／佐々木誠
2009-050／鞘形類（*Naefia* sp.）：1／中村剛瑠
2009-052／アンモナイト・イノセラムス：7／阿部利春

- 2009-053／化石ノジュール：16／阿部利春
2009-054／脊椎動物化石（カメ）：1／平山廉
2009-056／脊椎動物化石：1／平山廉
2009-057／笠型巻貝（*Gigantocapulus* sp.）：1／藺田哲平
2009-058／アンモナイトほか：2／平山廉
2009-060／植物化石？：1／平山廉
2009-071／イノセラムス：1／生田水穂子
2009-075／サンゴ化石：1／小山明日香
2009-077／ノジュール：1／狐塚守
2009-079／アンモナイト・珪化木：2／伊藤キヨ
2009-081／アンモナイト：1／千歳化石会 服部義幸
2009-082／アンモナイト：1／千歳化石会 服部義幸
2009-083／アンモナイト：1／千歳化石会 服部義幸
2009-084／アンモナイト：1／千歳化石会 服部義幸
2009-085／アンモナイト：2／千歳化石会 服部義幸
2009-086／アンモナイト（*Ryuella ryu*）：1／長谷川浩二
2009-088／脊椎動物化石：1／堀田良幸
2009-089／化石ノジュール：46／高橋博志
2009-090／アンモナイト（*Ammonoceratites ezoense*）：1／長谷川浩二

動物・植物（自然系資料）：6件・13点

- (受入番号／寄贈資料の名前：点数／寄贈者名)
2009-026／動物標本（エゾシカのツノ）：1／菅原昭二
2009-028／キイロスズメバチ：2／鶴野隆司
2009-061／ミヤマクワガタ：1／藺田哲平
2009-062／エゾマイマイ殻：2／藺田哲平
2009-064／カタツムリ殻ほか：6／藺田哲平
2009-087／野鳥の巣（ヒヨドリ？）：1／横山宏史

その他資料（人文資料・その他）：2件・5点

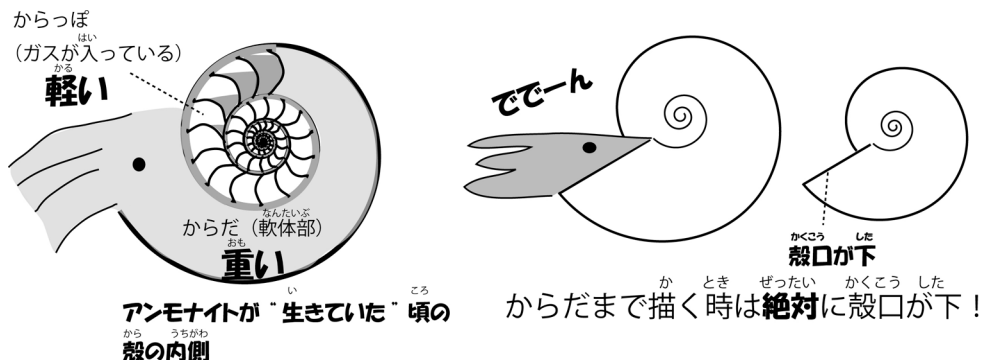
- (受入番号／寄贈資料の名前：点数／寄贈者名)
2009-073／林業作業用道具（トビほか）：4／加藤敏廣
2009-029／岩石用大ハンマー：1／太田昇

総計 56件・667点

今年もたくさんのご協力をありがとうございました

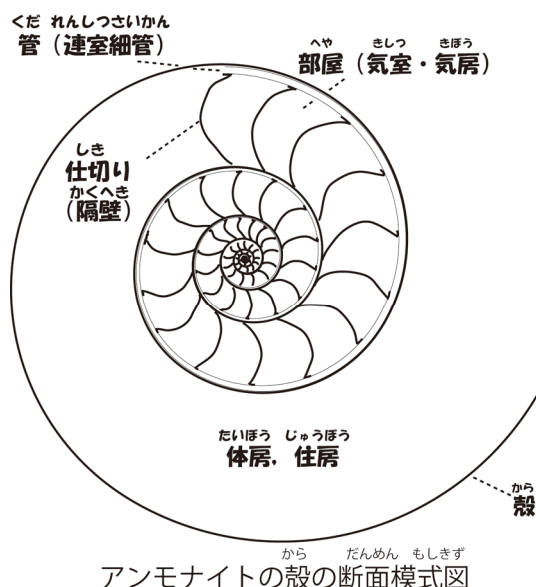
特別展「北海道アンモナイト図鑑」開催中

穂別周辺から採集された標本を中心に、北海道産アンモナイト67種136点を展示しています。世界初！？アンモナイトの描き方について学術的な視点を含めて紹介しています。



アンモナイトの秘密 4

アンモナイトの殻の断面を模式的な図で示します。多くのアンモナイトの殻は図のように螺旋（らせん）状に巻いています。殻の内側は多数の仕切り（隔壁）で仕切られていて、それぞれ小さな部屋（気室・気房）に分けられています。よく見てみると、仕切りと殻の外周（殻の腹側）は接していません。ここには細い管（連室細管）があり、仕切りと仕切りをつないでいます。殻の内側には仕切りが多数ありますが、外側の半巻きから一巻きには仕切りがなく、大きな空間になっています。これは体房・住房と呼ばれ、アンモナイトのからだ（軟体部）が入っていたと考えられる空間です。



アンモナイトの殻の断面模式図

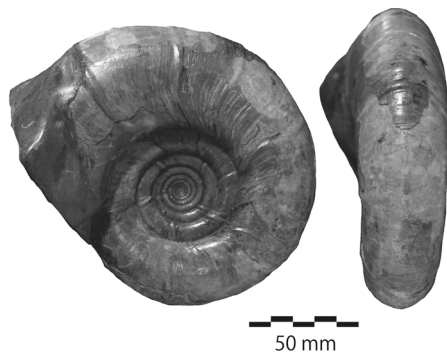
さて、このような殻内部の構造と、以前に観察した奇妙な模様はどのように関係しているのでしょうか？

(つづく 普及員 西村)

来月から、ホッピーだよりはHPでござんください

来月から町報へのちらしの折り込みがなくなり、ホッピーだよりは各家庭に配布できなくなりました。博物館のホームページで公開しますので、ぜひご覧下さい。

アドレスはこちら→ <http://www10.plala.or.jp/mukawa/soshiki/hakubutsukan/>



むかわの化石や生き物<穂別のアンモナイト> *Gaudryceras venustum* ゴードリセラス・ベヌスタム

大型になるゴードリセラスで、約20 cmまで成長する。螺管がやや薄く、弱い肋が発達する。種名の*venustum*は「華麗な、美形の」という意味。

穂別市街北方5 kmに位置するキウス産の標本を基に1984年に新種であることが記載された。白亜紀マストリヒチアン期前期（7000万年前）に生息。
(普及員 西村)

2010年 4月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2 3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

2010年 5月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15

■：休館日

今年も化石などのたくさんの寄贈をありがとうございました。研究や普及活動などに活用させていただきます。来月からホッピーだよりは配布されなくなりますが、これまで通り毎月作成しますので今後はホームページでぜひご覧下さい。(さ)